

指定管理業務モニタリング評価結果

令和 8 年 2 月
事務局本部業務課

対象業務		広島西部地域水道用水供給水道、沼田川水道用水供給水道、沼田川工業用水道	
指定管理者		株式会社水みらい広島	3期目 R5.4.1～R10.3.31
評価期間		令和7年度（令和7年4月～令和7年6月）	
総評		A	S：優良（要求水準以上の取り組みを実施している項目がある） A：良好（各項目の要求水準をすべて満たしている） B：要改善（各項目のうち要求水準を満たしていない項目がある）
業務履行状況	項目	評価	評価内容
	1 運転監視	○	供給水量の変動を予測した配水池の水位を管理することで、供給水量の変動時でも、水量及び水圧を確保し、安定した供給に努めている。
	2 水質管理	○	原水の水質状況の把握と適正な薬品注入により、安定した水質維持に努めている。
	3 施設管理	○	定期的な管路パトロールや振動診断を行い、送水管の漏水状況を把握している。
	4 データ管理	○	定期的な緊急資材の在庫管理や施設点検業務の結果等について、システムを用いて適切に管理している。
	5 委託・修繕・更新業務	○	事業実施計画書に基づいた適正な委託・修繕・更新業務が実施されている。
	6 料金徴収・窓口対応	○	料金徴収業務及び流量計取替工事における給水停止や減免等の対応について、停滞無く、実施されている。
	7 その他	○	沈殿池の清掃頻度を増やすことで、場内におけるかび臭原因物質の発生を抑制している。
品質向上等に向けた取組		<ul style="list-style-type: none"> 白ヶ瀬浄水場では、薬品注入量算出にあたって、原水の水質検査結果だけでなく、過去の実績データを反映したAIによる薬品注入量を照らし合わせることで、より適切な薬品注入量を把握し、安定した水質維持に努めている。 埜田浄水場及び宮浦浄水場では、浄水池内の滞留によりかび臭原因物質が発生し易いことから、緩速ろ過池の流入流量の増加により、池内の水の循環促進を図り、かび臭原因物質の生成抑制に努めるなど水質維持に取り組んでいる。 	
提案項目への取組		<ul style="list-style-type: none"> 西部事業所では、白ヶ瀬浄水場と三ツ石浄水場の相互給水による運用において、白ヶ瀬浄水場からの供給を自然流下により可能な範囲まで拡大する検討を行い、三ツ石浄水場からの供給時に必要となるポンプの動力費の削減に向けた検討が進んでいる。 	
その他課題、要望事項等		<ul style="list-style-type: none"> 広域運転監視システムを活用した整備体制の構築に向けて、総合的な経験職員を確保するため、引き続き人材育成に努めること。 	

【評価基準】

- ◎：要求水準以上の取り組みを実施している
- ：要求水準をすべて満たしている
- ×：要求水準を満たしていない項目がある